

いかわ

# 議会 だより

No. 142

2020.4.15

井川の源流

井川のすばらしき自然

3

月議会

(会期・3月10日～19日)

第1回臨時会・第1回定例会	2
令和元年度補正予算・議会常任委員会	4
予算特別委員会（予算審査）	6
予算特別委員会（総括質疑）	8
一般質問（6議員登壇）	11
条例改正・人事・表彰・陳情	18
私のひとこと・議会のうごき	20

# まちづくりのため、 いたします!!



## 令和2年初議会(第1回臨時会)が 招集され、議長等が選出される。

議会改選後の初議会が先般2月4日招集され、選挙により新正副議長が選出された。

次に、各常任委員会、議会運営委員会、議会だより編集委員会のそれぞれの委員が議長から提案され、満場一致で選任された。その後、各正副委員長を互選し、承認された。

さらに、各一部事務組合議員並びに選挙管理委員会委員及び補充員が議長の提案どおり満場一致で選出された。

次に、議会選出監査委員並びに湖東地区行政一部事務組合議会議員の同意案が提出され、満場一致で同意された。(詳細は下記表のとおり)

議長

遠藤 政勝



副議長

浅野 義幸



◎議会選出監査委員(議員の改選による)

松田 弘 咲(新屋敷) 新任

◎湖東地区行政一部事務組合議会議員

(令和2年1月31日任期満了による選出)

遠間 富 和(田 中) 再任

◎選挙管理委員会委員

(令和2年1月31日任期満了による選出)

三浦 美智男(小竹花) 再任

藤田 陽子(街道) 再任

高橋 正男(新間) 新任

工藤 貞彦(大麦) 新任

◎選挙管理委員会委員補充員

(令和2年1月31日任期満了による選出)

安田 幸子(寺沢) 再任

半田 智(田中) 新任

渡部 優子(宇治木) 新任

渡部 学(さくら) 新任

## 議会人事構成

議席番号	氏名	常任委員会		議会運営委員会	議会だより編集委員	湖東地区行政一部組合	八郎湯・井川衛生処置施設組	八郎湖周辺清掃事務組合	井川・湯上財産管理組	議会選出監査委員
		総務産業	教育民生							
1	高橋 剛		○		○		○			
2	松田 弘 咲		副委員長	委員長		○				○
3	伊藤 俊郎	副委員長		副委員長	○	○				
4	石井 茂	委員長		○	○			○	○	
5	三浦 晃	○								
6	佐々木昌子		○		副委員長			○		
7	鷲谷 清利	○			委員長					
8	草階 廣治		委員長	○			議長		○	
9	工藤久兵衛	○							○	
10	三浦 成利		○		○		○			
11	浅野 義幸		○	○		○			議長	
12	遠藤 政勝	○			○					

# 快適で住み良い 誠心誠意、尽力

## 令和2年度 一般会計当初予算

### 30億4,600万円 (前年度比5.8%増)

令和2年度 各会計当初予算総括表 (単位：千円)

会計名		予算額	伸び率(%)
一般会計		3,046,000	5.8
特別会計	国民健康保険事業	528,500	0.2
	国民健康保険井川町診療所	111,900	△ 2.4
	介護保険事業	887,200	1.2
	介護認定事業	31,900	3.6
	介護サービス事業	293,100	△ 1.4
	後期高齢者医療	56,900	8.8
	下水道事業	240,500	8.9
計		5,196,000	3.9
水道事業会計	収益的収入	122,273	△ 0.9
	収益的支出	111,871	△ 2.1
	資本的収入	3	0.0
	資本的支出	67,100	38.8

令和2年  
第1回定例会(3月議会)  
開催される  
(会期3月10日～19日)

令和元年度特別会計繰入・一般会計・各特別会計の補正予算が9件、令和2年度特別会計繰入・一般会計・各特別会計の当初予算が10件、条例改正21件、条例廃止1件、人事同意1件、諮問意見1件を審議し、全て原案どおり可決した。

## 令和2年度の主な事業

* 公用車購入事業	6,034千円
* 役場庁舎照明LED化事業	2,285千円
* さくら駅空調設備事業	1,340千円
* ゆうゆう浴室配水管漏水改修事業	2,750千円
* こどもセンター屋根等改修事業	4,190千円
* 定住促進センター1階和室エアコン更新事業	1,500千円
* 日本国花苑林内歩道等整備事業	1,940千円
* 町道整備事業	2,899千円
* 防災安全事業(小泉・新間町道改修)	2,540千円
* 道路メンテナンス事業(橋梁改修)	1,615千円
* 防災拠点施設整備事業 (大台生活改善センター・横岡児童館改築)	5,330千円
* 町民体育館等電気設備改修事業	1,260千円
* 義務教育学校タブレット等整備事業	2,854千円
* さくら苑ナースコール設備事業	1,200千円
* 高等学校等通学定期乗車券購入事業	5,000千円
* 県営湛水防除事業(浜井川・今戸地区)	4,549千円
* 県営林道開設事業(施田黒坪線)	7,000千円

**歳入・歳出 5,260万円を追加**  
**予算総額 31億1,710万円とした**

- 繰越明許費 (令和2年度への繰越事業)**
- 担い手確保・経営強化支援事業 ..... 3,672千円
  - 県営湛水防除事業 ..... 4,954千円
  - 防災・安全事業 (橋梁改修) ..... 45,000千円
  - 義務教育施設整備事業 ..... 8,567千円
- 計 62,193千円

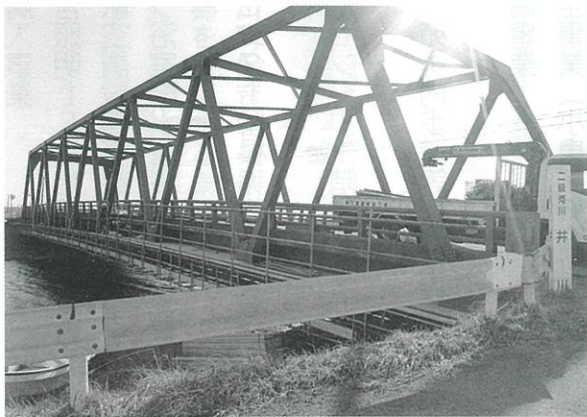
- 債務負担行為 (将来の町の負担約束)**
- 中小企業融資斡旋資金保証料補助金 (令和2年度～令和8年度) ..... 185千円

- 地方債の追加 (町の借入金)**
- 義務教育施設整備事業 ..... 4,100千円

- 地方債変更**
- 過疎地域自立促進特別事業、公衆無線LAN環境整備事業、林道開設事業、県営湛水防除事業、防災安全事業、緊急防災・減災事業  
合計額240,100千円→227,500千円

**◆歳出の主な内容 (単位:千円)**

事業名	額
各款項目に計上している人件費 (職員給・職員手当等)	△13,030
臨時雇賃金	△10,732
街灯設置工事	△1,600
電算機器備品購入費等	△3,204
秋田県町村電算システム共同事業組合負担金	△3,733
財政調整基金積立金	47,000
井川町議会議員選挙費	△1,877
安心子育て支援基金積立金	49,000
児童手当	△3,000
診療所特別会計繰出金	46,100
担い手確保・経営強化応援事業費補助金	3,672
県営湛水防除事業浜井川地区負担金	1,032
機構集積協力金交付事業費補助金	△3,955
下水道事業特別会計繰出金	△2,494
防災・安全事業費 (委託・工事費 (道路))	△28,660
防災・安全事業費 (委託・工事費 (橋梁))	△64,412
湖東地区行政一部事務組合負担金	△6,551
井川っ子教育推進基金積立金	49,900
情報通信ネットワーク環境施設整備費	9,337



干潟橋橋梁補修工事 (防災安全事業)

**【原案可決】特別会計補正予算 (令和元年度)**

- ◎ 国民健康保険事業特別会計  
566万8千円を追加し、5億4,402万7千円とする。
- ◎ 国民健康保険井川町診療所特別会計  
750万円を減額し、1億710万円とする。
- ◎ 介護保険事業特別会計  
40万円を追加し、8億9,233万4千円とする。
- ◎ 介護認定事業特別会計  
21万9千円を追加し、2,835万5千円とする。
- ◎ 水道事業特別会計  
収益的支出 (職員手当) 6万円の追加とする。
- ◎ 下水道事業特別会計  
278万5千円を減額し、2億4,917万5千円とする。
- ・ 繰越明許費  
流域下水道事業建設費負担金 239万円
- ◎ 国民健康保険事業特別会計  
566万8千円を追加し、5億4,402万7千円とする。
- ◎ 介護サービス事業特別会計  
341万3千円を追加し、3億81万3千円とする。

こんなことを審査しました

# タブレット購入に伴う基金積立は

委員会審査 主な内容を掲載

## 総務産業

**問** 産業課と水道課を合併する理由と場所の設定、また、町民課の再編成での人員配分はどうか。

**答** 下水道会計が産業課にあり、将来的に公営企業会計に移行すること



総務産業常任委員会

から、水道課会計と下水道会計を一緒にした事務

処理が必要になると予想され、流れを一本化し効率的な運用を図るため統合する。また、場所は変わらないが、事務の関係によって職員の移動の可能性はある。町民課においては、町民生活課は6名、健康福祉課は10名の

予定である。

**問** 井川町定住促進センター利用料と公民館利用料とのバランスはどうなっているか。

**答** 公民館の方が安いという認識はなかったが、定住促進センターが高いという声が少しあり、改正につながった。ただ近隣自治体も同様の料金体系である。団体の扱いはなくなり部屋単位での料金になった。

## 教育民生

**問** 教育振興費の井川つ子教育推進基金積立金はタブレットの更新等のために準備しているか。また、タブレットは何台購入して何年使えるか。

**答** 令和2年度のタブレット購入の予算要求をしているが、維持費などを含めるとある程度積み立てておかなければならない。タブレットは

246台一括購入し、使用は5年をみている。

**問** 老人クラブの補助金に対する報告書の提出などにより、役員の負担

が重いのではないかと感じている。活動数の減少もあり今後どのような対策をしていくか。  
**答** 老人クラブは任意の組織のため、こちらか



教育民生常任委員会

ら強く言うのは難しい。今回小今戸と海老沢が脱退したが、理由としては会長となる人がいないとのこと。会長なしで連合会の会員として所属できないかと相談した経緯はある。町の方に提出する報告書においても簡易的なものでも良いことにはしている。

会計を除く)

前年比▶▶▶1億9,500万円増

# 予算 どう活かす

## 予算審査

令和2年度各会計当初予算を審査する予算特別委員会(委員長 松田弘咲)を設置し、5日間にわたり審査した。90項目182回の質問があった。

### 総務課

**問** さくら駅周辺のイルミネーション事業を駅南側駐車場まで拡大してはどうか。

**答** 検討はした。南側駐車場への設置となると新たに電源工事が必要となり、費用が多くなるため保留とした。引き続き検討していく。

**問** 公用車購入とあるがどのような車を予定しているか。町長の送迎以外の用途は考えているか。

**答** 7人乗りのワンボックスカーを予定している。近年、来庁する来賓や講師の方を送迎する機会が増えた。そういった

方々の送迎にも使用したい。

**問** 町内会長報酬を振興費に含めたとのことだが、他の方法は考えたか。

**答** 県内では当町と2市のみでしか支払いが行われておらず、まずは廃止するかどうかという点から議論した。来年度から急に廃止することは難しいと判断。文書配布手数料として支払う、または会計年度任用職員として支払うという考えにもなった。しかし、色々な制約があり結果として町内振興費で支払うこととした。

**問** 様々な作業委託があるが、極力町内業者に委託するようにしているか。

**答** 町内業者ができるものに関しては見積もり依頼、あるいは指名競争入札をして契約している。

**問** 特別旅費については町長や職員の研修旅費とのことだが、職員の研修は今年度よりも充実させたか。

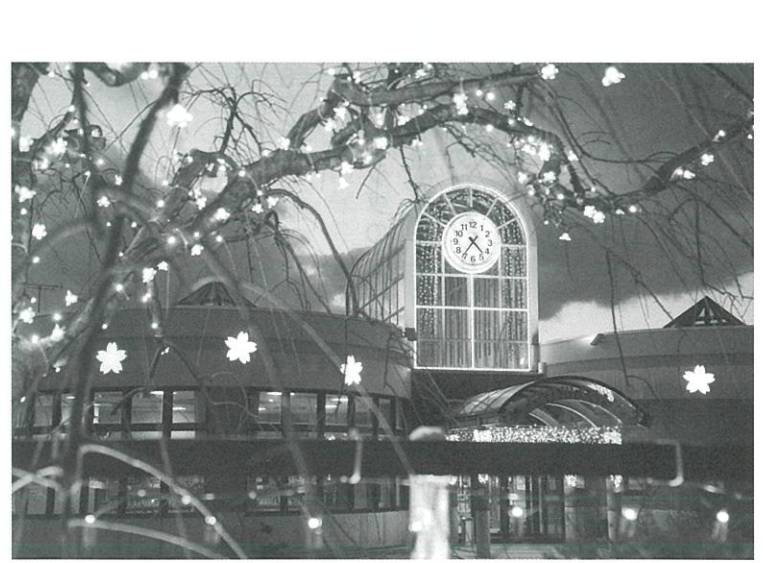
**答** 新人研修の他に、職員階級ごとの研修、また各業務分野に沿った研修もあることから積極的に参加させる。

### 町民課

**問** 高等学校等通学定期乗車券購入助成金は、定期券の期間の長短により差があるか。また電車のみか。

**答** 6ヶ月定期券の金額を基準に半額相当を4月1日以降の購入に対し補助する。電車のみである。

**問** 一人暮らし老人扶助の内容は。



拡張が望まれる駅イルミネーション

**問** 週に1回牛乳を配達しビンの回収を行っている。仮にビンが回収できなければ町に報告をすることになっており、見守りも含んでいる事業。本人の希望で行っており、希望しない人には配達していない。

**問** 災害対策費の非常食の内容は。

**答** ごはん、パン、おかゆ、水、副食。県の備蓄指示量の3分の1である

**問** 空き家等除去費補助金の利用実績は。

**答** 今年度は1件、昨年度は2件あった。補助金についての相談は少ないが、空き家バンクの相談はある。解体を促しているが多額の経費がかかるため補助金の活用が進まない状況。

# 総額 51億9,600万円 (水道事業)

## 新年度予算 限られた

**問** 循環器健診を受診しない高齢者が結構多くいると聞か、受診してもらうための方策を行っているか。

**答** 年齢に関係なく受診してほしいと呼びかけを行っている。健診会場では高齢者の方には座ってもらおうなどの配慮は行っている。

**問** 医療費の現状はどうか。

**答** 県平均が40万3,486円。井川町は44万2,580円。一位は男鹿市で49万316円。最も少ないのは大潟村の29万3,853円。

**問** 診療所の先生が代わる。勤務形態は決まっているか。

**答** 月曜から金曜まで行いが水曜の午後は休診の予定。

### 産業課

**問** 水害調査委託の内容と場所は。

**答** 排水の逃げ道、氾濫理由を探る調査。新屋敷

は川周辺、小竹花は道路沿い住宅の裏側水路、宇治木・小泉は氾濫が多い井川への排水箇所、寺沢は県道と圃場整備事業の間。

**問** 定住化促進住宅の事業内容は。

**答** 羽立の特賃跡地に建設予定。民間にデザイン・建設してもらい、町が借り受けて運営している。2棟建設で8戸を予定している。子育て・若者向けの住宅。

**問** 国花苑内にさくらの本数を増やす計画はあるか。また遊具増設の計画はあるか。

**答** 遊具の増設は考えてない。桜に関しては、枯れた木は補植している。森づくり税の事業で散策路に植栽するなど、年々増加させていく予定。日本一の品種数など観光の目玉にしたい。

**問** 特産品研究会補助金の使途と今後の活動予定は。

**答** 特産品のPRに使用している。製造業者など

外部の参加者を募る活動も始めており、積極的な活動をする。

**問** 耕作放棄地の現状は。

**答** 統計上、町にはない。自己保全が85haあるので農地パトロールをして法人などに提起していきたい。

**問** 施田頭首工の工事見通しは。

**答** 県事業総額9千600万円を予定。来年度は測量及び実施設計を予定している。

### 教育委員会

**問** 不登校の児童生徒はどのくらいいるか。どのような対応をしているか。

**答** 2ないし3名いる。保護者に対してさわやか教室や県の専門相談窓口に関する情報提供をしている。

**問** ストレスチェックの内容と結果をどう活かしていくか。

**答** 今年度から実施している。職場の人間関係や

業務量の負担についてチェックを行った。業務量についてはストレスを抱えていないようだが、人間関係については他に比べてストレスがかかっているようだ。学校に結果を知らせて改善に向けて助言している。

**問** ICT支援員を常時学校にるように配置時間を増やせないか。

**答** 学校から時間が足りないなど要望があれば対応していきたい。

**問** 新型コロナウイルスの影響で休校となっている。学校給食に納入予定だった農家が困っている。救済策は考えているか。

**答** 休校については見通せない状況。3月19日の休校期間が終了してから4月以降のことについて考える。長期化した場合、農家の方への対応についても考えたい。

※ICTとは：  
通信技術を活かした  
コミュニケーション



工事がはじまる施田頭首工

# まちづくりを

## 総括 質疑

**伊藤俊郎** 防災拠点施設整備費について、大台・横岡地区に平等に半分ずつとあるが、大台に対し横岡の世帯数は約3倍である。建物自体の大きさは同じか。

**町長** 現在の建物を基準に考えると、丁度半分とはならないが、建物の大きさ、必要な人数等を勘案しながら、十分に検討したい。

**伊藤俊郎** 取り壊して建てるか、移動して建てるか。

**町長** 敷地を見れば、今の建物よりも仮に大きくするといっても十分面積がある。原則的には位置を変えずに建てたい。

**伊藤俊郎** 建物の解体中、事故などの対策は。

**町長** 会合などなるべく無い時期を考えながら工事していきたい。大台地区に関しては、代替の場所が無い。横岡地区に関しては、定住センター



防災拠点のひとつである横岡児童館

を使うなど代替可能。指摘を踏まえ進めていく。

**鷺合清利** 海老沢地区の運動広場のトイレを撤去することだが、子どもたちが遊んでいる時や、大人の軽スポーツやウォーキング等実施の際

に利用したいとの要望がある。撤去ではなく、再建はどうか。

**町長** 昨年のまちづくり懇談会の中でもいろいろ話しているが、公園に対する遊具などの整備に関しては、利用者がどんどん減ってきていること

もあるので、新たな設置や改修については相当厳選していかなければならない。海老沢地区の運動広場については、運動会など行われていない実態があり、住民が活動する機会が無いと理解している。整備にかかる費用などについては、今一度考えながら検討を進め、要望があった時に改めて考えたい。

**佐々木昌子** 特別旅費の職員研修について、新人研修や各分野別研修に参加させていると説明を受けたが、職員は接遇に対しての研修を受けているか。その機会があるならば、その割合はどれ程か。

**町長** 接遇のみの研修はなかなか無いため、現状実施していないが、出張して実施するというよりは、足りない部分や個々のレベルが違う部分を、接遇講師を呼んで徹底的に実施する方が効果的であるため、今後、考

えなければならない。

**伊藤俊郎** 農業振興諸費の栗栽培について。どういう意味で植栽する意向となったか。

**町長** 特産品を目指すため植栽するもの。

**伊藤俊郎** 特産品開発はいろいろ実施したが、最後まで行われていない状況。今回は最後まで力を入れて頂きたい。町長の考えは。

**町長** 栗そのものを販売できることと、将来的に高値で売れるということとで栽培を始めた。農家の所得向上や「町の栗」として認知されたり、観光栗園として人を呼ぶきっかけにするなど、さまざまな可能性を持って取り組んで行く。

**浅野義幸** 湖東病院からの帰りのバスが無い。老人クラブなどから、薬局のバスで送迎されていたが、今はもう無い。



# より住み良い

**町長** 特に今戸、小今戸地区については巡回していないと要望があったが、国道7号線を走る路線バスと経営上の問題があり、町の無料巡回バスと競合するということが難しい状況。

**浅野義幸** 7号線を使わなくても良いルートなど、他に方法は。

**町長** ルートを含めての見直しとなれば交渉の余地はあるかと思うが、現時点ではそこまでは考えていない。やらないという訳ではなく、何ができるか前向きに検討したい。

**鷺谷清利** 水道会計の総経費について。産業課長の3カ月の給与を出している。経営利益が非常に少ない中、今後設備の更新の時期を迎え費用もかかってくるが、給与は水道会計から捻出しなければならぬか。

**町長** どちらでもできる。

**鷺谷清利** 営業利益が少ないので、積み立てを増やしながら一般会計から出す方策はないか。

**町長** 手立てとして考えることはできるが、水道に関連する人件費は水道会計で支出する考え。

**鷺谷清利** 一般会計から支出する方策を考えてもらいたい。

**町長** テクニクとしてはいろいろなことができるが、町の考え方として、水道事業に関する人件費については、水道会計でみるといった前提で予算を組んでいきたい。

**石井 茂** 総合振興計画策定支援業務委託について。アンケートの集計方法など、詳しい内容は検討中とのことだが、対象や集計方法、いつまでに振興計画に反映するかを聞きたい。

**町長** 20年前の振興計画策定時は18歳以上の全住民という年代別の抽出

だった。個人的に、今回は全住民とまではいかず、抽出をしたほうが良いと考えている。年代別のアンケートの場合、高齢の方に対するものや、アンケートのレベルに関しては十分に吟味しなければならぬ。時期としては、最終的に来年度の3月末までとし、検討会

向けに秋口くらいには第一案として報告できる形にしたい。

**石井 茂** 若者を中心として、どういう町に変わって行った方が良いか。「夢や希望を持てる町にしたい」ということは若者全員が思っていること。高齢の方の意見も

大事だが、一定に実施するか、若者向けに多めに抽出するか、度合いについてはどう考えているか。

**町長** 個人的には、率を変えてということと、若者の意見を取り入れることについては前向きに検討したい。中学生や高校生の意見を聞いてみたいという思いはある。

基礎部分は一緒と思うが、年齢によってアンケートの内容を変えるのもひとつ。吟味したい。

**石井 茂** 東京圏からの移住が対象となる「居住支援金」は、井川の人口が減ってきている状況を見れば大変必要な事業と思う。国の補助があるから展開するのではなく、「全国どこからでも来てくれれば補助金を出す」など、町単事業で実施し発信していかなくては来てくれないと思うが、町長の考えは。



井川の玄関口である井川さくら駅

**町長** 移住事業は大変重要な事業だが、町の問題として「移住者がいても住むところが無い」という所に手当てしなければ、移住事業に力が入れないと考えている。

なおかつ、生まれた方が外に出て行くことが残念でならない。定住対策にも力を入れ、バランスを大事にしたい。現時点で、移住に特化した政策に舵を切るのは考えていない。

**石井 茂** 井川に興味を持ってくれる関係人口を増やす為に、もっと広く発信するべきだと思う。何か、今後の新しい取り組みなどの計画は。

**町長** ふるさと井川会の事業を新しくスタートする。

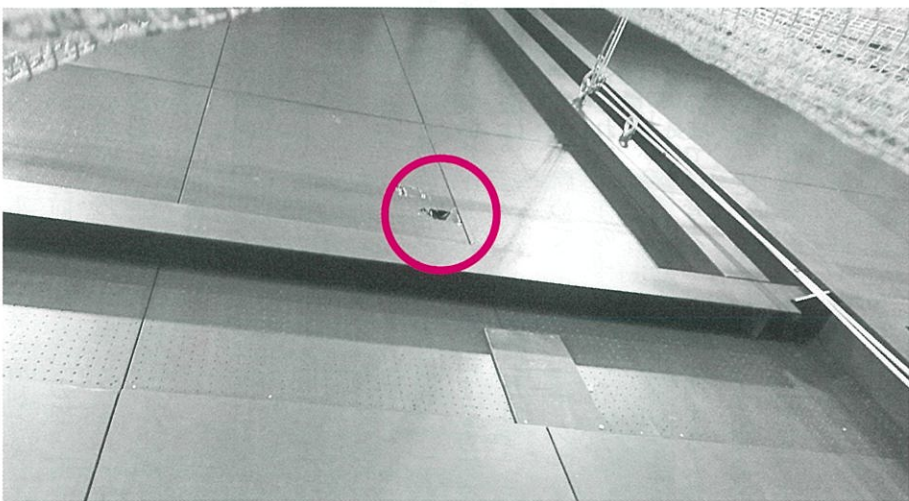
関係人口を増やすためのPRは大事だが、住民と一緒に「来てくれる人を迎え入れる」ということが大事。町だけでなく、住民全体の意識をどう高

めるのかを政策として考え、検討したい。

**石井 茂** 住民の意識を変化させるには何が必要か。どのような方法があるか。

**町長** 意識を変えるのは、何事においても当事

者意識だと思う。他人事だと思っていれば何も始まらない。それを自分事とすると初めて当事者意識が生まれ、物事に参加する、見直す行動が起こるだろうと思っている。交流事業を始めるには、ただ来て下さいだけでは



壁内のスポーツ交流施設の開いた穴

く「町も協力するので行ってみませんか」行ったら何か考えが変わった、きっかけが生まれるのではないかと、という思いはある。議員の皆さんも積極的に参加して頂いて、その時に感じたことが、住民にとっても非常に意識が変わるきっかけになる可能性があるのでは、その辺をご指導頂ければと思う。

**浅野義幸** スポーツ交流施設について。室内ネットの下が裂けたり、壁に穴が開いたりしている。本来そこは硬式ボールに対応できるネットではないのに使っている。

**町長** 町民の方には適正な使い方をして頂きたい。町の管理として、過去の話と現状のルール化が明確ではないといった指摘かと思うので、今一度、整理しながら、使用者に対してしっかりとルールを明示したいと思う。

**石井 茂** 水洗化リフォーム補助金について。昨年度の対象が0ということだが、何故こんなに水洗に特化するのか。住宅リフォーム全体に補助金を付ければ良いのではないかと。水洗化を行う可能性がある世帯は現在、何世帯あるか。

**産業課長** 未接続世帯数は約100世帯と認識。

**石井 茂** 水洗化リフォームのお金を付けて、実際にトイレを直そうという気持ちがある人は何件あると予想して予算化してきたか。

**産業課長** 100世帯の内では希望者、どの位申し込むかについては把握していない。ただ、平成30年度の実績は1件。令和元年度については0件だった。

**石井 茂** 水洗化に特化しない「住宅全体のリフォーム」として補助金を付けるのと「県も付いているので、二つ合わせる」と結構良い金額になり「す」という感じにできないか。

**町長** 県の方で3世帯同居の補助金があり、町としても上乗せ補助をしている認識。やるにしても、リフォーム等については何でも良いということにはいかないだろう。町単で新たなものを作るにしても「どういう目的でどういった所をリフォームする為に、町でお金を出す」といった所を考えなければならぬ。水洗化については、全世帯の接続を目指すというところで事業を進めてきたこともあるので、制度としては残しておくというのが原則だと思う。新たなものを作るといった場合には、水洗化リフォーム、プラス何かということになるかと考えている。

# 6人の議員 一般質問

一般  
質問

町政のことが聞きたい

定例会初日から2日間一般質問が行われ、6人の議員が町政について質問した。質問順に掲載する。

P12	鷺谷 清利 議員 <b>1</b> どのように職員を教育して、どのような町に創り上げていくのか <b>2</b> 町民意向調査の実施について <b>3</b> 一人暮らし世帯の心のホットラインについて <b>4</b> 町道に設置されている街灯管理の見直しについて <b>5</b> 防災・防犯体制の現状と対策について
P13	石井 茂 議員 <b>1</b> 国民健康保険税について <b>2</b> 世帯分離について
P14	伊藤 俊郎 議員 <b>1</b> 今後の国花苑管理・整備について <b>2</b> 河川の堆積物及び草木類の撤去について
P15	三浦 晃 議員 <b>1</b> 新型肺炎の感染予防策と検査・医療体制について <b>2</b> 町内に「見守りカメラ」(仮称)の設置について <b>3</b> スマート農業と中山間地の農業振興および害獣対策について
P16	高橋 剛 議員 <b>1</b> 「光を追いかけて」公開における町の対応について
P17	浅野 義幸 議員 <b>1</b> 国花苑の今後の方向性について <b>2</b> 米と野菜の複合経営について

■ 抜きの数字は掲載された質問です。それ以外は紙面の都合により掲載できませんでした。なお、掲載できなかった質問については議会議事録で見ることができます。

## ◆ 一般質問とは ◆

一般質問は、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。

質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制を採用し、事前に質問内容を通告することとしている。

井川町では、質問時間は、1人につき30分以内で完了することとされている。

質問は時間内であれば再々質問までできるものである。

## 一般質問

# 職員教育と町の方向性は 職場の環境づくりと町民の協力で



としきよ 清利 議員  
やぶ 鷲 先生

**鷲谷** 町の財産である職員に公務員としての心構えを植え付け、誠実に丁寧な仕事ができるようにするため、どのように教育していくか。

また、副町長も町長と職員のパイプ役として、必要不可欠である。そして、町長は今後どのような町に創り上げていくか。

**町長** 管理職員がこれまでの経験を活かして、若い職員を指導していく必要があるが、中堅職員や若い



町民に対応する職員

職員も自らの意見を積極的に発言できる環境づくりが重要である。また、副町長が不在でも職員とのコミュニケーションを取っており、何一つ住民サービスを低下させることなく、職務を遂行している。そして、職員の元気が町の元気につながると思うので、町民の力も借りながら、町づくりのアイデアを企画し、実行していきたい。

## 災害準備は万全か、防犯対策と子どもたちのいじめ対策は

### 町長

職員の防災訓練実施  
防犯パトロールと有線、パンフレットで啓発

### 教育長

学校で防災避難訓練の実施  
徹底したいいじめ防止教育の実施

**鷲谷** 町や学校における自然災害（豪雨や大地震等）に備えた防災体制の確立と振り込め詐欺や子どもたちのいじめなどの現状と対策について伺う。

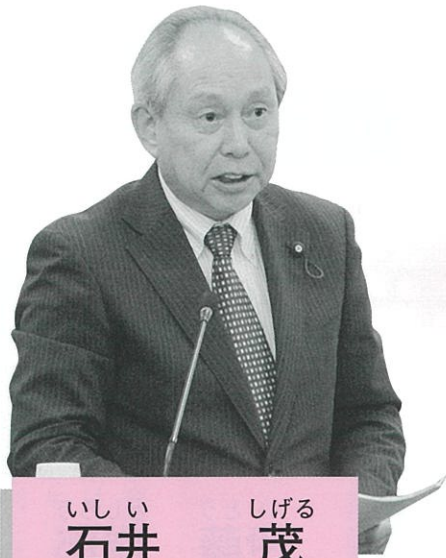
**町長** 防災体制については、地域防災計画に基づいて、職員行動マニュアルを作成し、担当班を振り分けた防災訓練を実施している。各世帯には災害ハザードマップを配布して避難場所等を提示している。自主防災組織の防災訓練には2万円の補助があるの  
防犯協会を中心にしては、

ロール・有線放送による呼びかけ・チラシ配布等を実施している。今後も警察、各種団体とも連携しながら啓発したい。

**教育長** 防災教育については、義務教育学校で避難訓練を年2回実施しているが、来年は3回実施したい。4年生は体育館で段ボールを利用して一泊生活を行う避難所体験も実施している。今後は町の消防団や町内会とも連携を密にして、子どもたちの防災意識を高めていきたい。

子どもたちのいじめ等については、5年生から9年生のスマホの所有率は9割となっている。その中で、いじめの温床となっているLINEを利用しているのが7年生以上で7割を超えており、利用時間も平均25分となっている。今年度は4年生以上に警察と通信会社の方々に講師に招いて、その危険性や機器の使い方の指導をした。

また、いじめ調査は年3回実施したが、ひやかしゃ仲間外れを訴えた子どもが十数人いたという結果を踏まえて、今後はインターネットによるトラブルに関する講座を実施したり、SNSに関連したルールとマナーを徹底し、防犯教育の一層の充実を図っていく。



いしげろ  
石井 茂  
議員

## 国保税 18才未満の均等割を免除しては 現状考えていない

**石井** 全国知事会や市長会は、国保制度を真に持続可能にするには公費負担増による抜本的軽減が必要だととして、定率国庫負担割合の引き上げ・子どもの均等割保険料の軽減・ペナルティの全面中止などを求めている。

このような状況のもと各地で子どもの均等割を減免したり、多子世帯・ひとり親世帯・所得が生活保護基準を下まわる世帯などさまざまな「特別な事情」がある世帯に自治体独自の減免制度を適用していく取り組みが広がっている。「湯沢市18才未満均等割免除へ」とのさきがけ



循環器健診で順番を待つ人たち

記事があった。国保の現状、子育て支援、少子化対策など、総合的に鑑みれば大変理にかなっている。我町でも実施してはどうか。

### 町長

国民健康保険は、中高年齢者が多く加入して医療費は増加する一方、被保険者の所得水準が低いことで負担率が高いという構造的な問題を抱えている。その中で均等割は世帯の人数で

決まる。子どもが多いほど税額は増える。全国町村会としても、子どもに係る均等割保険税を軽減する支援制度創設を国に要望しているが制度化されていない。

町としては国保制度に加入している特定の子どものみを対象とはせず、子ども全体に対した支援事業を展開しているし今後も続けていきたい。町独自の軽減策を講ずることとは現状考えていない。

**石井** 仮に導入するとすれば、対象人数・必要経費はどれ程になるか。

### 町長

24世帯39人が対象になり、90万600円が必要となる。

### 石井

均等割は「人头税」との指摘もある。

所得のない子どもにまで課税するべきではないと考える。均等割に対する町長の考えは。

### 町長

感情論で言えば思うところはあるが、みんなですべからく負担をしていくという考えに立てばよくある賦課方式だと考える。

## 世帯分離基準厳しいのでは

そうは思わない

### 石井

町民から「井川町は周辺自治体と比べ世帯分離の基準、運用が厳しいのではないか」との相談を受けた。秋田市を含め近隣自治体、またインターネットなどで調べたが、相談者のいうとおりだと思う。

### 町長

受理した数は平成28年度10件、29年度8件、30年度12件、令和元年度が1件。

申請時に町が出している「世帯分離届をされる方へ」というペーパーには5項目にわたり記載されている。内容に問題があるのではと考える。世帯分離の申請件数と

世帯をどう捉えるか定義は難しいが、世帯分離をする基準は生計を一緒にしているかいないかの一点。他自治体のことはよく把握していないが、我町だけ厳しいとは思っていない。

# 一般質問

## 国花苑・維持管理どうする 不足分は一般財源から



伊藤 俊郎  
議員

**伊藤** 昭和47年に造成された国花苑も早40数年になるが、まだ完成された状態ではない。今後は栗園・旧小学校を含めた将来的な国花苑像を、はっきりさせ、いつまでに完成された国花苑を造りあげるのか、目標年度を決め整備すべきと考える。また、ここ数年間の維持管理費・整備費はいくら必要とされてきたか。今後の維持管理費は毎年いくら必要で、どのよう



いつ完成する国花苑

な方法で対処する考えか町長に伺う。

### 町長

将来的な国花苑とは、町内外から来る方に親しみがあつて多くの方が訪れていただける公園を理想として整備していく考えである。いつ最終的な公園ができるかは明言できない。栗園、旧小学校について限定的に考えればしっかりと形になって表さなければいけないと思っている。過去5年間の決算では、必要経費は年間約

大倉町内から井川本流との合流地点までの赤沢川には、多くの堆積物があり、その上にはアシ・マコモ・ガマその他多くの草木類が生い茂り、川幅が極端に狭まったところが数箇所ある。また、井川本流との合流地点も同様な状態であり、大雨時には水嵩も増し川の流れが大きく阻害され、川本来の役目を果たすことのできない状況である。住民は大雨時には大洪水が発生するのではないかと危惧しており、一日も早く不安を払拭できるような対応をと



草木類が生い茂った赤沢川

## 災害発生前に河川管理を 今後も県に要望していく

### 伊藤

大倉町内から井川本流との合流地点までの赤沢川には、多くの堆積物があり、その上にはアシ・マコモ・ガマ

るべきと考え、次のことについて町長に伺う。  
●今までに河川の定期的点検を実施しているか。

堆積物の撤去については県の方へお願いしているが、思うとおり進んでいない現状であり、引き続き要望を行っていく。

### 町長

河川は県管理であり点検内容は把握していないが、定期点検は業者に委託して行っていると聞いている。

- 点検時の点検内容はどんな内容か。
- 点検内容の記録は保管されているか。
- 今後、堆積物の撤去対応をどうするか。

3,500万円から4,000万円、整備費は1000万円から5,000万円と年によってバラバラである。今後も

収入は600万円前後であり歳出は4,000万円弱である。残りは一般財源からということになる。



みうら 三浦  
あきら 晃  
議員

## 新型コロナウイルス対策は万全か 手洗い・咳エチケットなどの徹底

**三浦** 学校の臨時休校やイベントの中止、規模縮小など事態は深刻だが、新型コロナウイルスの感染予防対策と検査・医療体制の状況について町長の考えは。

**町長** 新型コロナウイルスの予防対策と検査医療体制については行政報告でも述べている。町では2月27日に新型コロナウイルス感染症対策室を立ち上げ、今後の施設の運営や行事の開催など協議をしている。町の施設利用者で感染者が出た場合、どう消毒をするとか、防護服が必要かどうか、そういったものを購入しなければならぬかなど、細かいと

ころまで実態としては動いている。

**三浦** 町で発生した場合、情報公開などをどのようにするか。

**町長** 現在の検査体制ということでは、陽性と判断された場合、町が情報公開するのではなく、井川町であれば秋田中央保健所である。先に県で公表して感染経路とか情報公開については、保健所単位で整理をされると伺っている。当然その情報については、町としても公表前にほしいということは伝えているが、個人のプライバシー、個人情報等の問題もある。

**町長** 今、町としては物資もなかなか入ってこない中、窓口においては手洗いのスプレーを置いて対応しているところなので、引き続き手洗

い、咳エチケット等の徹底をお願いし、感染防止に対して検討を進めていく。当然、国の動向等にも注視しながら適宜対応していきたいと思っ



義務教育学校も感染防止に  
万全を期して臨時休校

## スマート農業で省力化・効率化を まだ発展途上

**三浦** 農業従事者の減少や高齢化が進むなか、農作業における省力化、効率化を図るため、ドローンなどのロボット技術、情報通信技術を活用した「スマート農業」について、現在の取り組み状況は。

**町長** 国としても2022年までにスマート農業をどのように現在の圃場に実装するか、ということ今取り組みを進めている段階で、まだまだ技術的には発展途上のものと考えている。そうした中で井川町においてGPS搭載の田植え機を保有している法人

や、試験的に水稲管理を行っている法人もある。JAあきた湖東でもドローン操縦免許を取得した職員が数名いると聞いている。活用の仕方によっては非常に効果が期待できるが、個々の農業者にも左右される。営農規模や経済性を見極めながら、国や県の補助、今後のスマート農業への国全体の政策等踏まえて取り組んでいきたいと考えている。

**三浦** イノシシなど害獣被害について状況と対策は。

**町長** 中山間地の害獣対策については、ここ2、3年イノシシの目撃情報もあり、鳥獣被害防止計画に追加し猟友会とともに調査をしている。被害が増える傾向であれば対策を講じていきたい。

これも質問  
「見守りカメラ」  
の設置について

# 一般質問

## 映画を活用したPRを 長期間人が来て頂ける仕掛けを



たかはし 剛  
高橋 議員

**高橋** 来年公開予定の映画「光を追いかけて」の公開に伴い、町として何かPRやイベントの企画はあるか。

例えば出演者を招き、撮影現場である旧小学校を利用して試写会を行うとか、県内外からロケ地を訪れる、いわゆる聖地巡礼と言われる行為に対しての対応など、内容によつては早くから準備を始める必要があると思うが、どう考えているか。

また、来町者に対してのお土産的な感覚で、グッズや町の新たな名物を作つてはどうか。例えば井川で採れた農作物を使つての弁当やお菓子を作つたりなど、こちらも生産を考えると早くから

準備をしなければならぬものもあると思う。他にもロケ場所にわかりやすくパネルを立てるなどPRしてみても。

### 町長

PRや公開に先立つイベントというのは、当然製作サイドで行うものということ念頭におかなければならない。その中で行政がどういふことができるかというの、住み分けをしっかりとしなければならぬと考える。ただ、映画の公開は井川町そのもの

をPRできる絶好の機会と考えているので、映画を利用した地域活性化策については行政として、できる限りの事業を展開していきたいと考えている。お土産的なものというふうな話については、民間がやるか行政がやるか何を作るかをしっかりと考えなければならぬ。民間企業が少ない中でどうやってやるかは悩ましい問題。ただ、そう言つてもPRの絶好の機会であると捉えてはいるので、いろんな展開を



ロケ地となった旧小学校

企画しているところ。撮影当初から成田監督を始め、映画をサポートして頂いている関係者などどういふことができるか、町として皆さんの力をどう借りられるかというの定期的な話し合っている。ただ、事業をやるにあたって当然それに伴う財源の確保等々始め、今年度中に仕掛けるものは仕掛ける。今現状で明言できるのは、PR冊子を作るといふようなことは当然、町としては行う。

### 高橋

出演者を招いての試写会を行うことによつて、県内外から人を町に呼び込むことはできないか。

**町長** 映画は慈善事業で必要としている。試写会で観て頂くよりは、しっかりとお金を払つて観て頂きたいというのが根本的な考え。ただ、一部の手伝つて頂いた方々などに関しては試写の機会は設けたいと思つている。それができるかも製

作サイドとの調整が必要。色んな方に我々の地域を見て頂きたいという思いはあるが、外の方に對して無料で観て頂くために試写会を開くという考えは無い。

### 高橋

試写会を伴つたPR活動はしないという認識で良いか。

### 町長

試写会、上映会に伴つたPR活動ではなく、PR全体の中で物事を進めて行く。お土産を作るにしても、今、民間業者が少ない中で当然行政サイドとしては支援協力はするが、全てを行政がやるのが果たして良いものかということを考えなければならぬ。いづれにしても多くの方に喜んで頂けるような事はしたい。

PRというのは、終わった後にどのくらい人が来て頂けるかだと思ふ。公開の一端だけではなく、その後何年かはわからないが、ある程度の期間、人が来て頂ける様な仕掛けということをメインに今は考えている。





あさの浅野  
よしゆき義幸  
議員

## 国花苑の今後の方向性は 起業したい方がいれば協議する

**浅野** 町を舞台とした映画が来年公開される。5月の桜のシーズンに最終撮影で多くの方に知って頂く機会が増えることで、町内外から多くの方が国花苑に足を運ぶと思う。よく町内外の方たちから「国花苑になんで飲食店がないんだ。あれば便利だし利用客も沢山いると思う」と言われる。四季折々の景観も魅力あるのではないか。町長は以前から飲食店を開業したい方がいれば、いくらでも協力すると言っていたが、どの程度の協力なのか、また誰かに声掛けや周知はしているか。



国花苑の活性化に期待

**町長** 今、盛んに言われているのは把握している。現状として、じまんどこハウスの運営も考慮して検討すること、飲食施設をやるときにどんなものをやるかが一番大事だと思う。起業したい方がいれば、当然誰でもとはいかないし具体的な運営方法や計画がないと話が進まない。もし、話

があれば協議し、どれくらいかの応援や支援ができるか、協議また計画によって様々左右されると思うので十分に検討する。国花苑に限らず飲食や企業を立ち上げるなど、自分で色々やりたい方がいれば当然相談ののついでに考えて、多くの方に積極的にそういう機運が立ち上げばと思ってる。

**浅野** 町の農業を見渡すと稲作中心で推移しているが、稲作脱却は県の課題でもある。町でも十数年前にカボチャなど数品目の作物を推奨し定着している実績がある。例えば法人などの大規模農家・一般の方などの小規模農家に分けた農作物の仕掛けづくりが必要ではないか。大規模農家は労働力があるので数種の作物、小規模農家に数名でできる作物の推奨にして、奨励金や種代に肥料代の助成することで農家の所得安定と特産品としても繋がるのでは。待ちの体制でなく動かないと進まないと思うが。

**町長** 耕作面積1,140ha中、水稲の作付面積は950haで約83%が水稲の作付率。大・小規模の中でこれまで水稲以外新たなものに取組むという中ではリスクがある。町として大小の経営規模に関わらずJAと振興する作物に合わせ取組みやすいものを産地交付金の作物と設定し奨励金を交付している。今後、例えば限定した作物に面積拡大した場合何らかの支援をするやり方もある。このような助成策は前向きに検討したい。

## 米と野菜の複合経営を 面積拡大した場合の 支援を考える

# 条例改正・廃止・同意・諮問

3月議会に上程された議案は、条例改正21件、条例廃止1件、同意1件、諮問1件で本会議では原案どおり可決した。

## 議案第4号は賛成多数 他議案21件は全員一致可決

### 議案第1号

◆課設置条例等の一部を改正する条例

例 「町民課」を「町民生活課、健康福祉課」に改正。

### 議案第2号

◆井川町情報公開条例の一部を改正する条例

例 公文書の公開請求に係る、手数料を公文書1件につき200円とする改正など。

### 議案第3号

◆井川町職員定数条例の一部を改正する条例

例 監査委員の事務部に兼務職員1人を追加する改正。

### 議案第4号

◆井川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

例 町職員の勤務時間以外の時間における勤務命令

### 議案第5号

◆井川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

例 非常勤職員に関する育児休業期間の延長を可能とする場合を追加し、特別の事情に係る規定の整備。

### 議案第6号

◆地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

例 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

### 議案第7号

◆井川町スポーツ交流施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

例 使用時間・使用料の改正。平日午前9時から午後9時まで、土・日・祝日午後5時まで。

### 議案第8号

◆井川町民体育館条例の一部を改正する条例

例 1時間単位の使用、1時間ごとの使用料に改正。

### 議案第9号

◆井川町民武道館条例の一部を改正する条例

例 1時間単位の使用、1時間ごとの使用料に改正。

### 議案第10号

◆井川町営町民野球場使用条例の一部を改正する条例

例 使用時間・使用料の改正。平日午前9時から午後9時まで、土・日・祝日午後5時まで。

### 議案第11号

◆井川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例

例 放課後児童支援員に係る経過措置を3年延長するために改正。

### 議案第12号

◆井川町保育料条例の一部を改正する条例

例 「支給認定保護者」を「教育・保育給付認定保護者」に改正。

### 議案第13号

◆井川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例

例 子ども、子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴い、満3歳児以上の副食費の取扱いについて、また特定地域型保育事業者の連携施設の確保義務を緩和し、幼児教育・保育の無償化に係る改正。

### 議案第14号

◆井川町軽費老人ホーム条例の一部を改正する条例

例 消費税率の引き上げに伴い、規定により秋田県知事が定めることとされた額が一部改正されたことによる利用料の改正。第3条の生活費の「夏季43,700円、冬季51,800円」をそれぞれ「44,510円、

### 議案第15号

◆井川町国民健康保険診療所使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例  
消費税等の引き上げに伴い、100分の108を100分の110に改正。

### 議案第16号

◆井川町介護保険条例の一部を改正する条例  
消費税率の引き上げによる低所得者の介護保険料軽減強化の完全実施に伴い、所得段階1〜3段階までの第1号被保険者の保険料を軽減する改正。

### 議案第17号

◆井川町定住促進センター条例の一部を改正する条例

部屋の名称と使用時間、使用料を1時間単位に改正。

### 議案第18号

◆井川町日本国花苑条例の一部を改正する条例  
苑内のゲートボール場の廃止に伴い使用料を削除するための所要の改正。

### 議案第19号

◆井川町道路占用料徴収条例の一部改正する条例  
道路法施行令の一部を改正する政令の施行により、本町の道路占用料の額を改定するための所要の改正。

### 議案第20号

◆井川町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

「水道課」を「産業課の環境整備班」に改正。

### 議案第21号

◆井川町水道事業給水条例の一部を改正する条例  
水道法の一部改正に伴い、指定給水装置工事業者の指定の更新に係る手数料等を定めるための改正。

指定給水装置工事業者指定手数料1件につき10,000円、指定更新手数料1件につき5,000円。

### 議案第22号

◆井川町地域特別賃貸住宅A型管理条例を廃止する条例  
町地域特別賃貸住宅A型の老朽化に伴い解体工事を実施し用途廃止したことによる。

## 表彰

### 全国町村議会議長会表彰(自治功労者表彰)



草階廣治議員  
(議員在職23年以上)

2月20日県市町村会館で行われた令和2年度自治功労者表彰式で永年議会議員として議会制度の高揚と住民福祉の向上に尽くされた功績により本町議会から草階議員が表彰されました。

## 人事案件

同意第3号

### 固定資産評価審査委員会委員選任

再任 伊藤 優光

(小泉町内)

諮問第1号

### 人権擁護委員の推薦

再任 藤田美保子

(田中町内)

## 陳情

3月議会に陳情2件が上程され、1件を採択、1件は継続審査とした。採択された陳情は関係機関に意見書を提出した。

### 採択

……… 全員一致

◎最低賃金の改善と全国一律制にすることを求める陳情

秋田県春闘共闘懇談会

代表委員 石川 洋基

秋田県労働組合総連合

議長 加賀谷俊悦

### 継続審査

……… 賛成多数

◎公立学校に「1年単位の變形労働時間制」を導入する条例制定に反対する陳情

私の

私の心の風景



海老沢町内

児玉長男

私は、16年前から実家のある海老沢町内に移住し、さくら駅を利用して秋田市へ通勤しています。高校時代は、飯塚駅まで自転車をこいで通学していましたが、今は、秋田駅まで30分と通勤・通学に便利な駅となっております。

さくら駅を利用して思うことは、秋田市近辺に通勤するサラリーマンにとつて、井川町が大変住みやすい町だということですね。

国花苑という素晴らしい公園があり、子育て支援施設「みなくる」、近隣の商業施設など居住環境に恵まれております。

また、有線放送による町の広報や、井川義務教育学校だよりを子どもにない世帯にも配布するなど、行政を身近に感じる町でもあります。快適なまちづくりの提案として、国花苑を中心に、例えば、さくら駅から国花苑ま

での町道沿いの農地を宅地へ変更できるような規制緩和するとか、井川小学校の旧校舎にカフェなどが入居できるように整備するなど（私見）、若い子育て世代が集まる場所として町が発展していくことを望んでおります。

私は、3月で退職し電車通勤は卒業となります。地元町内に目を向ければ、老人世帯、独り暮らし世帯、空き家の増加など、地域コミュニティの維持が難しい状況にあります。今後は、地域の一員として住みやすい地域づくりのために頑張っていきたいと思っております。

最後に、NHKB S番組「心旅」を真似て「私の心の風景」を紹介します。

「秋田駅下り電車の車窓から見える田園風景と男鹿寒風山に落ちる夕焼け」です。仕事帰りに心が癒やされ、この町に生まれて良かったと思う瞬間です。

議会のうごき

- 12月25日 井川町農業再生協議会総会 (役場：大会議室)
- 1月5日 消防出初式 (農村環境改善センター)
- 1月13日 令和元年度湖東3町商工会賀詞交歓会 (八郎潟町：八郎潟町農村環境改善センター)
- 2月4日 第1回井川町議会臨時会 (役場：議場)
- 2月10日 湖東厚生病院運営委員会 (五城目町：グリーロイヤル丸富)
- 2月13日 南秋田郡町村議会議長会連絡協議会 (八郎潟町：役場)
- 2月14日 令和2年第1回秋田県町村電算システム共同事業組合議会定例会 (秋田市：県市町村会館)
- 2月20日 秋田県町村議会議長会理事会 (秋田市：県市町村会館)
- 2月25日 日本国花苑さくらまつり実行委員会 (農村環境改善センター)
- 2月27日 第1回井川町議会全員協議会 (役場：議場)
- 3月1日 井川町婦人会総会 (農村環境改善センター)
- 3月2日 第1回議会運営委員会 (役場：正副議長室)
- 3月3日 議会だより編集委員会 (以降4回) (役場：小会議室)
- 3月7日 義務教育学校卒業式 (義務教育学校)
- 3月10日~19日 第1回井川町議会定例会 (役場：議場)
- 3月23日 八郎湖周辺清掃事務組合議会定例会 (男鹿市：クリーンセンター)
- 3月24日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会定例会 (八郎潟町：役場)
- 3月25日 井川町・潟上市共有財産管理組合議会定例会 (役場：大会議室)
- 3月26日 湖東地区行政一部事務組合議会定例会 (井川町：湖東消防本部)
- 4月3日 日本国花苑さくらまつり実行委員会P (役場：大会議室)

編集後記

議会議員改選に伴い、令和2年2月4日初議会が開催され、議会だより編集委員会委員6名が選任されました。広報発行条例にもありますように議会だよりは「井川町議会の審議状況及び活動状況を住民に周知させる」ことを目的に発行することになっておりますので、より具体的に分かりやすく伝えていきたいと思っております。

アウト、4月3日の第1回校正、4月8日の第2回校正、4月10日の最終校正と合計5回も編集会議を重ね、4月15日の第142号発行の運びとなっております。編集委員の半数が新人議員ではあります。委員全員が「分かりやすく、親しみやすい議会だより」を目指して、編集作業に臨む所存でございますので、町民の皆様からご愛読いただきますようよろしくお願い申し上げます。

また、町民の皆様から議会に対するご意見、ご要望をお待ちしておりますので、議会事務局までお寄せください。(鷺谷清利 記)



- 委員 石井 茂
- 委員 三浦 成利
- 委員 高橋 剛
- 委員 伊藤 俊郎
- 編集委員長 鷺谷 清利
- 副委員長 佐々木 昌子
- 発行責任者 遠藤 政勝